

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本授業科目では、教育実習(幼稚園)の事前事後指導を行うことを目的としている。実習のための準備として、担当教員の実務経験をもとに①実習に臨むための心構え、②保育活動をする上で必要な知識や技術を総合的・実践的に復習、③保育実践を記録するための留意点、④指導案の作成などについて指導し理解を深めるとともに、実習のための手続き方法や書類の作成方法等を指導する。実習終了後には、実習を振り返って自己課題を見出し、その後の学習に生かすことができるための指導を行う。

今年度春期は、第14回以降を実施する。(イタリック部分は、前年度秋期に実施済みである。)

授業計画

第1回	ガイダンス 教育実習とは	第14回	実習先でのオリエンテーションの受け方
第2回	日誌の書き方	第15回	実習直前指導（課題別クラス）
第3回	実習指導案の作成	第16回	・弾き歌い
第4回	保育技術を高める課題別クラス① 製作活動	第17回	・模擬保育 ・グループディスカッション
第5回	保育技術を高める課題別クラス② 弾き歌い①先	第18回	実習直前指導
第6回	保育技術を高める課題別クラス③ 弾き歌い②	第19回	教育実習を振り返る 一報告書作成
第7回	保育技術を高める課題別クラス④ 絵本の読み聞かせ		
第8回	先輩の経験談を聞く		
第9回	実習先でのオリエンテーションの受け方		
第10回	一日実習指導案		
第11回	特別講義 「パネルシアターの演じ方」		
第12回	実習の諸注意		
第13回	実習Ⅰのまとめ		

到達目標

実習前…実習に必要な保育技術を習得する。実習日誌が書ける。指導案を作成することができる。

実習後…自己の課題を見出す。保育者としての実践力が身に着く。

履修上の注意

- ・幼稚園教諭免許状取得希望者は必修である。
- ・授業はすべて出席すること。
- ・授業には『教育実習(幼稚園)のてびき』を必ず持参すること。
- ・課題および様々な書類の提出期限を厳守すること。
- ・授業形態は、全員対象の場合や少人数で行う場合など、変則的に構成していくので、指示を聞き洩らさないこと。

予習復習

予習…指示された課題を行う。

復習…返却された課題を見直す。ピアノの完成度をさらに高めるよう練習する。

評価方法

授業への取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価する。

テキスト

『教育実習(幼稚園)のてびき』

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本授業科目では、教育実習(幼稚園)の事前事後指導を行うことを目的としている。担当教員の実務経験をもとに実習のための準備として、①実習に臨むための心構え、②保育活動をする上で必要な知識や技術を総合的・実践的に復習、③保育実践を記録するための留意点、④指導案の作成などについて指導し理解を深めるとともに、実習のための手続き方法や書類の作成方法等を指導する。実習終了後には、実習を振り返って自己課題を見出し、その後の学習に生かすことができるための指導を行う。

本年度は、第 13 回までを実施する。(イタリックは、次年度春期に実施予定である。)

授業計画

第 1 回	ガイダンス 教育実習とは	第 14 回	実習先でのオリエンテーションの受け方
第 2 回	実習日誌の書き方	第 15 回	実習直前の課題別クラス
第 3 回	実習指導案の作成	第 16 回	・弾き歌い
第 4 回	保育技術を高める課題別クラス① 製作活動	第 17 回	・模擬保育 ・グループディスカッション
第 5 回	保育技術を高める課題別クラス② 弾き歌い①	第 18 回	実習の諸注意 教材のアイディア
第 6 回	保育技術を高める課題別クラス③ 弾き歌い②		
第 7 回	保育技術を高める課題別クラス④ 絵本の読み聞かせ	第 19 回	実習Ⅱのまとめ ～報告書の作成～
第 8 回	先輩の経験談を聞く		
第 9 回	実習先でのオリエンテーションの 受け方		
第 10 回	一日実習指導案		
第 11 回	特別講義 「パネルシアターの演じ方」		
第 12 回	実習の諸注意		
第 13 回	実習Ⅰのまとめ～報告書の作成～		

到達目標

実習前…実習に必要な保育技術を習得する。実習日誌が書ける。指導案を作成することができる。
 実習後…自己の課題を見出す。保育者としての実践力が身に着く。

履修上の注意

- ・幼稚園教諭免許状取得希望者は必修である。
- ・授業はすべて出席すること。
- ・授業には『教育実習(幼稚園)のてびき』を必ず持参すること。
- ・課題および様々な書類の提出期限を厳守すること。
- ・授業形態は、全員対象の場合や少人数で行う場合など、変則的に構成していくので、指示を聞き洩らさないこと。

予習・復習

予習…実習の手引きに目を通しておく。
 復習…与えられた課題を行う。ピアノの完成度をさらに高めるよう練習する。

評価方法

授業への取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価する。

テキスト

『教育実習(幼稚園)のてびき』

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

教育実習を行うに当たっての事前指導と教育実習終了後に行う事後指導とに分けられる。事前指導では、3名の教員が教育現場での実務経験を基にして教育実習に関する諸手続き、教育実習の意義や目的、学習指導を行う際に必要不可欠な学習指導案の作成、模擬授業の内容等について指導する。事後指導では、教育実習において作成した学習指導案、その授業記録を基に学習指導のあり様について考察する。なお本授業の履修は3年生の秋期から4年生の春期までの1年となる。

授業計画

第1回	教育実習の意義や目的	
第2回	学習指導案の意義	
第3回	学習指導案の書き方	
第4回	学習指導案の作成(細案と略案)	
第5回	学習指導案の検討	
第6回	小学校での授業の参観	※学外活動(市内小学校)
第7回	模擬授業の準備(発問計画の作成)	
第8回	模擬授業の準備(板書計画の作成)	
第9回	模擬授業の準備(教材・教具の作成)	
第10回	教育講演会	※外部講師招聘
第11回	模擬授業の実施	
第12回	模擬授業(授業記録を基に)の検討	
第13回	教育実習の直前指導	
第14回	教育実習(評価授業の授業記録を基に)の報告	
第15回	授業記録を基に授業分析	
第16回	授業分析の発表と教育実習の反省	

到達目標

1. 教育実習の意義や目的について理解する。
2. 学習指導案を作成することができる。
3. 模擬授業を実施し、その逐語記録を取る。
4. 逐語記録を基に授業を分析し、考察することができる。

履修上の注意

本授業の履修者は、小学校へ教育実習に行くことを前提としている。したがって、授業に参加する際は実習に参加していると捉えて臨むこと。遅刻・欠席は厳禁である。また、授業への取り組みが実習に相応しくないと判断した場合、実習に行けなくなる場合もある。

教育に係わるボランティア活動に積極的に参加すること。また、実習に関わるガイダンス等に必ず出席すること。

予習・復習

授業内容は、積み上げ方式になっているので、前回の授業内容を踏まえておくことが重要である。授業内容に関連した課題は、次の授業時までにとまとめておく。

評価方法

ポートフォリオ(授業で学習した内容を振り返り、自分の学習の成果が分かるように「目次」「見出し」「全体の構成」「後書き」等を考えて、作成した学習記録のこと)、課題、テスト、平常点等。

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領』(最新版)

『教育実習(小学校)のてびき』やその他の資料については、適宜配布する。